



銀杏 《 愛校 自主自律 》

～生徒一人一人が主役を果たす、「生徒が育つ学校」の創造～

宮内中学校 学校だより

デジタル社会をトラブルなく生き抜くための学びを深めました

現在、日常生活の多くの場面でデジタル化がどんどん進み、アナログな私も戸惑うことが少なくありません。戸惑うだけならまだしも、知らないうちに他人に迷惑をかけたりわかったふりをして相手の気持ちを察することなくデジタル社会に踏み込んでいたり、大人も子どももデジタル化について学び続けることが不可欠な時代となりました。

そのような中、GAZI 工房取締役社長の原一宣。様を講師にお招きし、全校生でSNSの正しい使い方について学びました。昨年度に引き続きの講話ということもあり、原様の講義の他、事前に生徒から募った質問にも丁寧にお答えいただく場も設け、とても中身の濃い学びにつなげることができました。「大人でも自制が難しい」スマホのコントロールや適切なSNSの活用について、とても分かりやすく教えていただきました。

私たちは、スマホやSNSを通して、血の通った人間同士の心温まる、時には勇気をもたらしたり時には勇気を与えたりする関係を広げ深めることで成長していきます。トラブル回避の視点だけでなく、互いに成長し合える関係を深めるという視点も大事にしながら、これからのデジタル社会を生き抜かなければならないと考えています。



今年度、1回目の学校運営協議会を開催しました！

7月12日（水）に、今年度第1回の学校運営協議会を開催しました。「学校運営協議会」は、「地域とともにある学校」の実現に向け、学校の諸課題解決だけでなく、学校・地域・保護者で子どもたちの将来のあるべき姿や目標、具体的なビジョンを共有していくことが大きな役割となっています。本校では、「生徒が育つ学校の創造」を柱にした教育を推進するにあたり、地域の教育力をいただきながら子どもたちの望ましい成長につなげたいということ、改めてご理解をいただきました。

また、授業参観や吹奏楽部の壮行演奏会の様子をご覧いただき、生徒に対するたくさんのお褒めの言葉を頂戴しました。

そのお言葉を糧にしながら、これからの宮中の発展につなげたいと思います。

今後とも、どうぞ、よろしくお願いいたします。

令和5年度 南陽市立宮内中学校 学校運営協議会委員の皆様

- | | |
|-------------|----------------------|
| ❖ 宮内地区長会長 | 菊地 位夫 様 (共育ネットワーク会長) |
| ❖ 宮内公民館長 | 星 俊之 様 |
| ❖ 金山公民館長 | 小林 繁治 様 |
| ❖ 漆山公民館長 | 高橋 正幸 様 |
| ❖ 吉野公民館長 | 山口 清 様 |
| ❖ 本校教育後援会長 | 高橋 仁智 様 |
| ❖ 本校 PTA 会長 | 小笠原裕志 様 |



吹奏楽コンクール置賜地区予選を見事突破！ 県大会への切符獲得！

7月15日(土)、長井市民文化会館を会場に、第62回山形県吹奏楽コンクール置賜地区予選が行われました。これまでの練習の成果を大きな自信に変えてきた本校吹奏楽の皆さんも、たくさんの方の保護者や観客の前で、堂々と素晴らしい演奏を披露してくれました。結果は見事「優秀」の評価をいただき、7月29日(土)に行われる県大会への切符を手にすることができました。

壮行演奏会の時よりも、奏でる音の広がりや深みを感じ、聴く人の心に染みわたる素敵な演奏にグレードアップしていたように感じます。さらに磨きをかけて、素晴らしい演奏を創り上げてくれることを楽しみにしています！

【中学生の部 「優秀」】

課題曲 ポロネーズとアリア～吹奏楽のために～
自由曲 フェスティーヴォ



南陽みらい議会の副市長として期待！！

本校1年生の、近野心絢さんが、過日のネット投票により、南陽みらい議会の副市長に任命されました。

大役ですが、精一杯、その任を全うしてほしいと思います。近野さんはもちろんのこと、議員となった木村奏さんも、この南陽市を良くしたいという強い思いを持って、この活動に力を入れています。7月28日(金)には、第1回南陽みらい議会も行われ所信表明があるとのこと。今後ますますの活躍を楽しみにしています！

ふるさとのお祭りを盛り上げることも、 私たち宮中生の大切な役目の一つです！

中学生も市民の一人であり、これからの地域社会の伝統や文化・歴史を継承し、それらを背負って立つ存在であってほしいと願っています。

7月11日(火)、子ども神輿保存会会長の大竹直様に全校生に激励をいただくとともに、各地区の頭取の皆様から貴重なお話を頂戴しました。「宮内のお祭りは、南陽市のお祭りと同じであり、みんなで盛り上げてほしい。」と熱いエールもいただきました。誠にありがとうございました。24日・25日は、宮中生の力でさらに盛り上がるよう頑張ってください。ほしいとともに、保護者の皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



【校長の独り言…】

「女性専用車両はあるが、男性専用車両はない」、「日本は選挙の投票に行かなくても処罰されないが、オーストラリアでは罰金が科せられる」、「外国人のCさんは、日本国籍を持っていない」の理由でマシヨンの入居を断られた」、「野球部では、上級生はグラウンドの整備はしないが、下級生はいつも整備をしなくてはならない」…。みなさんは、これらについてどう考えるでしょうか？

先日、三年生で行われた、「人権」をテーマにした研究授業のひとつです。話し合いの場面では、いろいろな立場や考え方を踏まえて、一人一人が想像したり考えたりしたことを、仲間と議論し合っていました。議論の中身はもちろん、なるほどというなすけるものばかりであっただけでなく、仲間の意見に耳傾け、受け止めたり反論したりさらに深めたりと、「さすがは三年生！」、学びに深みを持たせる姿にとっても感激しました。

特に「グラウンド整備」については、完全に意見が分かれ、時間があればその行方をぜひ追っかけていとも感じました。

宮中生の学ぶ姿の成長には、幼保小の先生方の教え導きも忘れてはなりません。学ぶことを安易にあきらめず、みんなで高みを目指そうとする生徒諸君の力を強く誇りに感じました。



本校のWEBページ(ホームページ)を、ぜひ、ご覧ください！

毎日の生徒の活動の様子を紹介しております。左側のQRコードを読み取っていただきますとページにリンクします。どうぞ、ご覧ください。